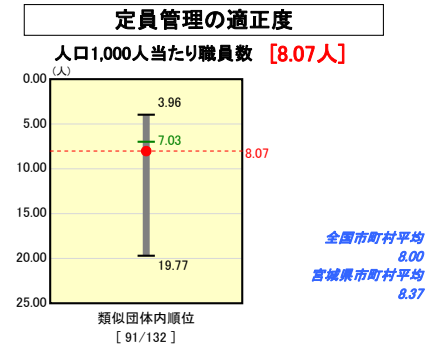
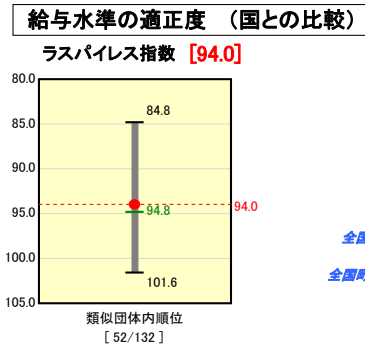
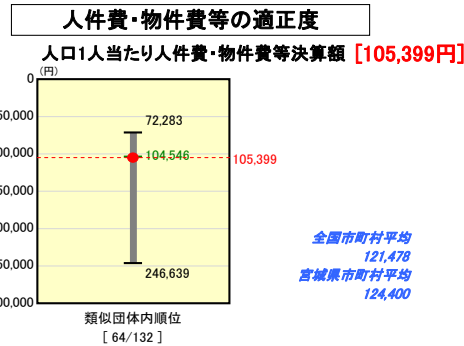
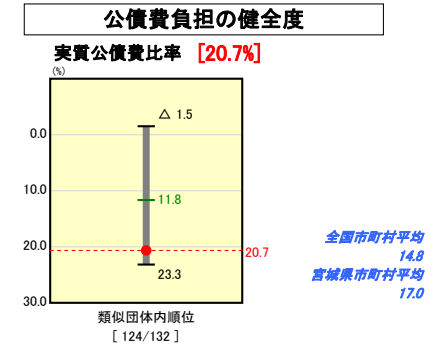
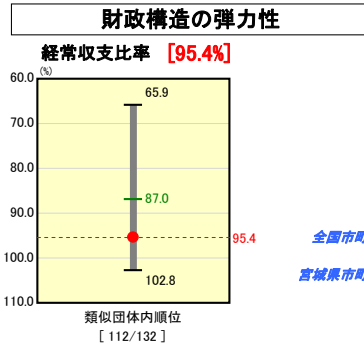
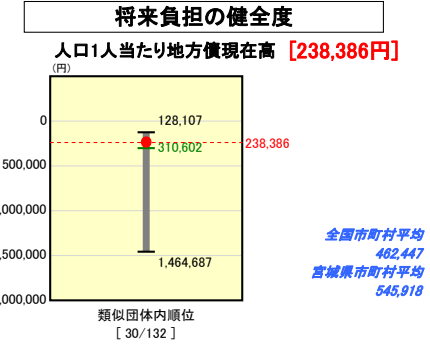
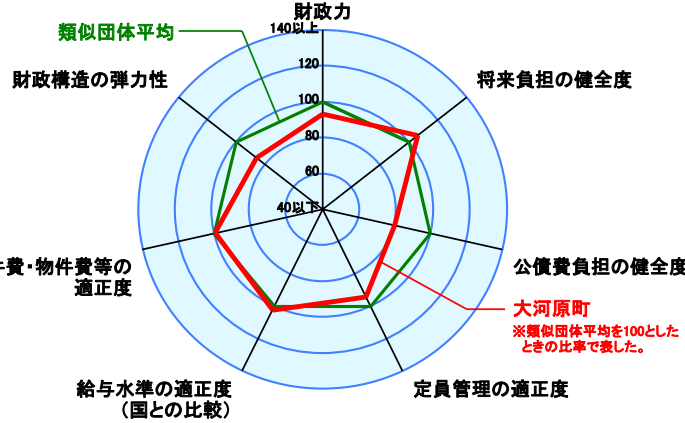
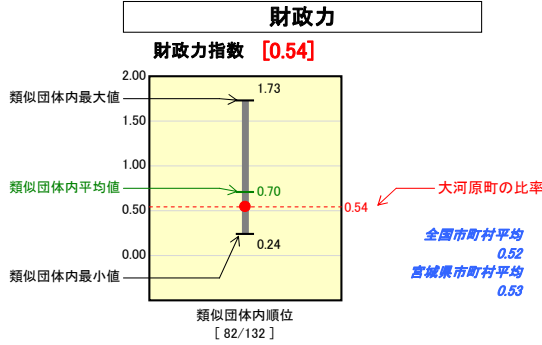


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

宮城県 大河原町

人口	23,407	人(H18.3.31現在)
面積	25.01	km ²
歳入総額	7,231,612	千円
歳出総額	7,073,394	千円
実質収支	148,397	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

- 財政力指数**
・財政力指数については前年度同数値となっている。長引く不況による税収の低迷が続き、基準財政収入額が伸びず類似団体の平均を下回る結果となっている。
- 経常収支比率**
・歳入においては地方税において約62百万円増となっているが、歳出において扶助費及び補助費以外の経費について全て削減したものの、みやぎ県南中核病院負担金の増等により補助費が大幅に伸び、結果として前年度より3.0ポイントの悪化となっている。
- 人口1人当たり人件費・物件費等決算額**
・前年度との比較で人件費約35百万円減、物件費約110百万円減、維持補修費約21百万円減となっており、人口1人当たり7,106円減となっているが、更に効率化を図り歳出抑制に努める。
- ラスパイレス指数**
・本町の職員構成は年齢層の比較的高い階層に偏りがあり、課長等の職に就く年齢が高い。ラスパイレスは経験年数に基づく調査であることから、類似団体と比し本町においては低い指数を示す結果となるものである。

- 人口1人当たり地方債現在高**
・過去10年度間において、大型プロジェクトを実施した平成11年度を除きプライマリーバランスは黒字となっており、計画的な事業の実施の成果として類似団体と比較し少額となっている。
- 実質公債費比率**
・みやぎ県南中核病院に対する負担金が間接的に公債費とみなされることから、負担割合の大きい本町にとっては比率が高まる大きな要因となっている。これらを除く比率は現在適正ラインにあることから、負担金の推移及び計画等を包含した公債費管理が求められる。
- 人口1,000人当たり職員数**
・類似団体平均と比較し若干多い職員数となっている。定員適正化計画に基づき定年退職者の不補充やアウトソーシング等の推進により平成22年度までに約10%の削減に努める。